

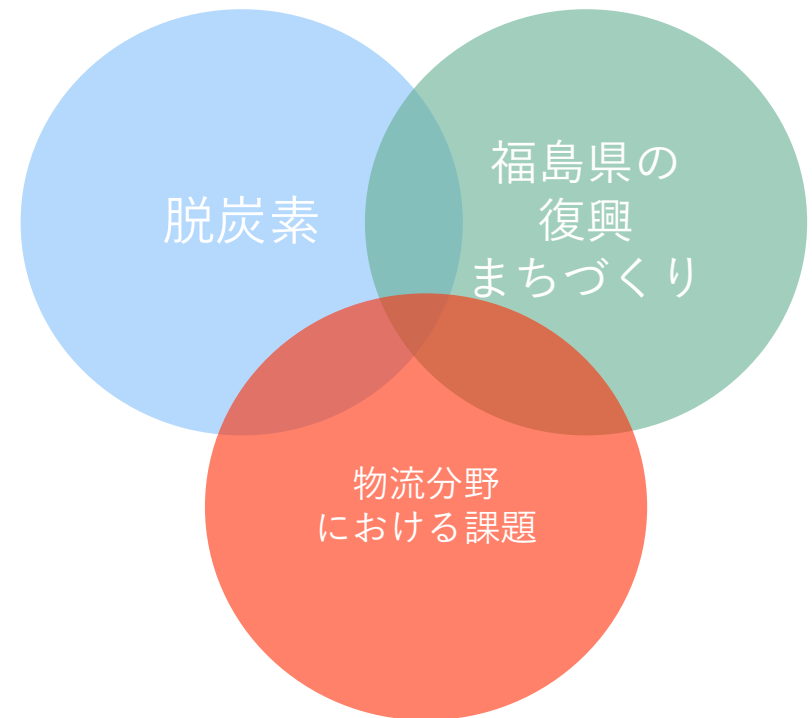
# 脱炭素物流検討WG

## 【概要】

物流分野における脱炭素の実現について検討

## 【WG化】

物流分野における脱炭素方策について、ドローン活用等を含め、あらゆる方策の検討を進めていくため、10月の全体会合で申請した。



# 2023年度の活動状況

## 活動状況(2023)

- 8月WG準備MTG：参画企業・組織等から、“本WGで実現したいこと”“協力可能な範囲”について意見
- 9月総会：WG承認
- 10月WG No1：各社より情報提供。検討の方向性に関するディスカッション
- 2月WG No2：今後の検討の方向性と進め方についてディスカッション

検討状況：  
参加メンバーの協力（情報提供や意見だし）によって検討の方向性が徐々に定まってきた。

2023年10月31日 2024年2月/3月

2025

2023年度 方向性検討ディカッション

2024年度 調査検討・実証・とりまとめ

### 参加メンバー（企業/個人名）

あいおいニッセイ同和損害保険(株)  
(株)アポロガス  
ふくしま hidro サプライ (株)  
イオン東北(株)  
村谷正之（沖電気工業(株)）  
KDDI総研  
佐川急便(株)  
大成建設(株)  
日揮(株)

### 参加メンバー（企業/個人名）

日本エヌ・ユー・エス(株)  
ヤマト運輸(株)  
横河レンタ・リース(株)  
楽天グループ(株)  
(株)ロボデックス  
筑波大学  
独協大学  
福島学院大学

# 検討の方向性

## ● 方向性【案】

1. 直近で実行性の高い施策：地域住民と連携した配送計画の最適化（実証性検討）
2. 中長期的な視点で活用が期待される施策：ドローンによる物流の実現（協議中）

### ✓ その他の観点（配送トラックの多目的利用の可能性）

- 地域課題解決につながる方策検討
  - 情報収集：自治体へのヒアリング等
- 他のWGとの連携可能性
  - 自然環境分野、観光分野などが予想され、他WGの検討状況も確認

# 1. 地域住民と連携した配送計画の最適化

## ● 配送業務の地方自治体/地域住民への業務委託など

- ✓ サービスの質を概ね維持した状態で（結果的に）脱炭素となる方策を検討する。
- ✓ アイディア
  - ビジネスにおける役割分担を見直し
  - 地域のつながりの積極的な利用

## ● 今後の進め方

### ① 情報収集

- 活用可能な地域資源
- 関連する法規制
- 必要な契約条件
- 地域の理解（賛同）

### ② 社会実装における課題抽出

### ③ 課題への対応検討

- （可能な範囲で）他分野に適用出来る検討のフレームワーク化